学生の幼稚園・保育所実習に対する不安および期待

馬場　康宏・田中　浩二

要　旨

本研究では、保育者養成機関に在籍する学生の幼稚園・保育所実習に対する不安・期待尺度を作成するための予備的研究を行った。実習に対して学生が実際に感じている不安・期待に基づいて質問紙を作成し、調査を実施した。因子分析の結果、不安では「子ども対応」「部分・責任実習」「実習生適応」「体調管理」の４因子が抽出され、また、期待については単因子構造であることが確認された。各尺度、下位尺度で α ＝.72～.91と高い内的整合性が認められた。

実習への不安・期待について学年差を検討するため t 検定を行った。その結果、不安尺度および下位尺度、期待尺度の全てにおいて、平均得点は２年生より１年生が有意に高かった。２年生は既に両実習を経験しており、１年生は実習未経験であったため、実習経験の有無が影響していると解釈された。また、実習未経験の1年生を対象として、調査時期による差を検討した。初回実習（幼稚園）の３か月前と２週間前の不安・期待の差を検討するため t 検定を行った。その結果、実習目前に「子ども対応」「実習生適応」不安が高くなり、逆に期待は低下することが明らかになった。対人関係面に関わる個人的な特性が、実習目前の不安に影響している可能性がうかがわれた。

問題と目的

平成27年４月時点で全国には640の指定保育士養成施設（厚生労働省、2015）があり、多くの養成施設では幼稚園教諭免許状の取得も可能である。保育者養成系の大学等で幼稚園教諭免許状や保育士資格を取得する場合、各々、実習科目の単位修得が必要になる。実習期間中、学生は配当された実習先に通い、指導を受けながら保育の観察や補助、実習日誌や指導計画の作成、子どもへの対応や保育実践の経験をする。事前に養成校で実習に向けた指導を受けているとはいえ、普段の大学生活の場とは異なる環境で、限られた期間内に新たな対人関係を構築しながら、状況に応じた判断、行動を求められるためその心理的負担は大きいといえよう。一方、実習先での子どもとの関わりや実践的な経験への喜びや楽しみなどの期待感もあるであろう。村田・岡本・小林・海野（2004）は、保育士養成施設の学生を対象とした研究で、１年生の９割以上が保育実習に不安を感じており、約7割が楽しみにしていることを明らかにしている。また、佐野・廣橋（2011）が指摘しているように、はじめての実習が順調かどうかは、後の学習への意欲や実習に対する意識に影響を与えると考えられる。学生の実習への不安や期待の構造を明らかにすることは、例えば、不安・期待に影響を与える要因、学生生活への適応、卒業後の進路希望との関連を検討するうえで重要である。

これまでの教育実習や保育実習に対する学生の意識に関する研究では、２年生より１年生の方がより不安を感じていること、実習経験後、不安は低減することなどが明らかになって

いる。大平・開（2009）は幼稚園教育実習後の１、２年生を対象に、実習期間中に感じた不安、達成感、満足感について調査し、２年生より１年生の方が高不安群の比率が高いこと、不安は実習の満足感と弱い負の相関が認められることを明らかにした。大谷・平化（2012）は保育者養成課程の保育実習・教育実習への不安や課題達成状況について分析し、実習前の不安はほとんどの項目で１回生の方が２回生より高いことを明らかにしている。佐野・廣橋（2011）は１年生を対象として、はじめての幼稚園教育実習前の不安感と実際に感じた大変さについて比較している。その結果、人間関係に関する不安の中でも特に職員・保護者との関係については、実習前の不安感より実際に感じた大変さの方が低く、実際には思ったほど大変ではなかったという学生の意識を明らかにしている。

また、実習への不安や期待を尺度により測定し、他の要因との関連について検討している研究も近年は多くなってきている。大野木・宮川（1996）は教育実習不安の構造について「授業実践力」「児童・生徒理解」「体調」「身だしなみ」の４因子を抽出し、実習終了後１週間で４因子とも不安が低減することを明らかにした。長谷部（2007）は短期大学１年生女子を対象として、第１回目の保育所実習に対する不安感、期待感、保育現場体験の有無について調査した。不安感については「指導」「事前理解」「人間関係」「活動内容」の４因子、期待感については「実習忌避」「意義」「出会い」の３因子が抽出された。さらに、実習時期がより目前に迫っている学生の方が、不安感が高く期待感が低いこと、不安感の高い者ほど忌避感も強いことを明らかにした。本多・櫻井（2011）は幼稚園課程の大学１、２年生を対象として、初回教育実習の２週間から１ヵ月前の不安の構造について「子どもとの関係」「継続不安」「保育の実践」「身だしなみ」「現場への適応」の５因子を抽出し、さらに保育者効力感尺度等との関連から構成概念妥当性の検討を行っている。

以上のように、教育実習や保育所実習に対する学生の不安や期待の構造、学年差、実習前後の比較、他の要因との関連についての研究成果が報告されている。ところで、先に述べたとおり幼稚園教諭免許状と保育士資格を両方取得可能な保育者養成機関も多く存在する。このような機関では、在籍中に複数回の実習に参加するカリキュラム編成になっているところが多いと考えられる。本研究の調査対象となった保育者養成系短期大学では、両免許・資格を取得する場合、１年次に教育実習Ⅰ（11月　幼稚園）、保育実習Ⅰ（２月　保育所）、そして、２年次に保育実習Ⅰ（施設）、教育実習Ⅱ（６月　幼稚園）、保育実習ⅡあるいはⅢ（９月　保育所、あるいは施設）と、２年間に５期間の実習が設定されていた。幼稚園と保育所とでは目的や機能の点で異なるが、実習生にとっては就学前の子どもの教育や保育を行なう点、実習日誌、指導計画の作成などの点で共通する部分も多い。そのため、保育者養成校に在籍中、各時期の実習に対する不安や期待を測定するため、幼稚園教育実習と保育所実習に対応可能な尺度の作成には意義があるといえる。そこで本研究では、幼稚園・保育所実習不安および期待尺度を作成することを目的とした予備的な研究を行う。まず、調査１では、予備調査により学生が実習に対して抱いている不安・期待の内容を収集する。そして、予備調査の結果に基づいて質問紙を作成し、因子分析による不安・期待の構造の確認と尺度化を試みる。さらに、t 検定により学年差について検討する。調査２では、調査１の結果から得られた尺度を用い、実習未経験の１年生を対象として、t 検定を用いた調査時期による差について検討する。

方　法

〈調査１〉

１．調査対象

保育者養成系短期大学に在籍する１、２年生

２．調査時期

2015年７月下旬

３．調査内容と手続き

まず、幼稚園教育実習・保育所実習への不安および期待についての質問項目作成のため、予備的な調査を実施した。幼稚園教育実習、保育所実習をまだ経験したことがない１年生と既に両実習を経験している２年生を対象に、①実習への不安や心配、気がかりなこと、②楽しみや期待について思いつくもの全てを、単語もしくは短文で挙げるよう求めた。１年生には、今後予定されている実習を念頭に、そして、２年生には過去の実習前を思い出して回答するよう求めた。

得られた回答を参考に、不安について37項目、期待について23項目からなる60項目の質問項目群を作成した。質問文は幼稚園教育実習と保育所実習の両方を想定して、両者で大きく違和感のない表現になるよう留意した。

調査１として質問紙調査法による調査を実施した。調査用紙は、学籍番号、性別、学年、進路希望、実習に対する不安感と期待感、予備調査により作成した60の質問項目群により構成された。調査実施にあたって、回答は数量的に処理され個人の回答は表に出ないこと、回答は成績等に一切影響しないことが説明された。また、学籍番号の記入については、他の調査とデータを統合する目的で使用する旨が説明された。

４．分析方法

因子分析（最尤法、プロマックス回転）による実習への不安因子の抽出、および因子分析（最尤法）による期待因子の抽出を行った。そして、Cronbach の α 係数により尺度の内的整合性の確認を行った。また、学年による差を検討するため対応のない t 検定を行った。

〈調査２〉

１．調査対象

保育者養成系短期大学に在籍する、初回の実習を目前に控えた１年生

２．調査時期

2015年10月下旬（実習２週間前）

３．調査内容と手続き

調査用紙は、学籍番号、性別、学年、進路希望、実習に対する不安感と期待感、そして調査１によって作成した幼稚園・保育所実習不安および期待尺度（37項目）から構成された。調査１と同様に実施された。

４．分析方法

調査時期による差を検討するため対応のある t 検定を行った。

結　果

〈調査１〉

回答が得られた319名（１年生132名、２年生187名）を分析対象とした。回答者の性別は女性が317名、男性が２名であった。

１．実習への全体的不安感・期待感

直近の実習参加に対してどの程度の不安感をもっているか、また、楽しみにしているか、実習への全般的な不安感および期待感について質問した。回答はそれぞれ「全く不安ではない」～「とても不安」、「全く楽しみではない」～「とても楽しみ」の5件法により求めた。直近の実習として、１年生には11月の幼稚園教育実習Ⅰ、２年生には９月の保育所実習Ⅱが設定されていた。不安感については、１年生の半数以上が「とても不安」と回答しており、「やや不安」と合わせると９割近くの学生が不安感をもっていることがわかる。２年生は「とても不安」と回答した学生は14.7%で「やや不安」と合わせて約６割の学生が不安感をもっており、実習に向けた不安感の程度が強い学生は１年生に多いことがわかる（表１）。また、期待感については１年生の約７割が「とても楽しみ」「やや楽しみ」と回答している。「とても楽しみ」と回答した学生は２年生（7.6%）より1年生（23.7%）が多かった。

２．不安・期待項目の度数分布

実習に対する具体的な不安（37項目）および期待（23項目）について、それぞれ「全くあてはまらない」～「よくあてはまる」の５件法により回答を求めた。項目ごとの回答者の度数と比率を表２に示す。

また、「全くあてはまらない」を１点、「よくあてはまる」を５点として得点化した。各学年、全学年の平均得点と標準偏差もあわせて示す。

３．実習不安尺度の作成

不安37項目に対して因子分析（最尤法）を行った。固有値の推移（11.13、2.12、2.01、

表１　実習への不安感・期待感

人、(%)

	全く不安ではない	あまり不安ではない	どちらともいえない	やや不安	とても不安	合　計
１先生	0	8	6	47	71	132
	(0.0)	(6.1)	(4.5)	(35.6)	(53.8)	(100)
２年生	2	38	32	85	27	184
	(1.1)	(20.7)	(17.4)	(46.2)	(14.7)	(100)
	全く楽しみではない	あまり楽しみではない	どちらともいえない	やや楽しみ	とても楽しみ	合　計
１年生	3	12	23	62	31	131
	(2.3)	(9.2)	(17.6)	(47.3)	(23.7)	(100)
２年生	10	36	50	74	14	184
	(5.4)	(19.6)	(27.2)	(40.2)	(7.6)	(100)

表２　項目ごとの回答度数および平均得点・標準偏差

人、（%）　1年生 $n=132$　2年生 $n=187$

		全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	よくあてはまる	平均得点	標準偏差(±)
1 子どもの状況にふさわしい声掛けができるか不安だ。	1年生	1 (0.8)	10 (7.6)	16 (12.1)	61 (46.2)	44 (33.3)	4.0	0.9
	2年生	1 (0.5)	37 (20.1)	28 (15.2)	94 (51.5)	24 (13.0)	3.6	1.0
	全学年	2 (0.6)	47 (14.9)	44 (13.9)	155 (49.1)	68 (21.5)	3.8	1.0
2 実習期間終了まで、自分の体力がもつか心配だ。	1年生	7 (5.3)	32 (24.2)	23 (17.4)	30 (22.7)	40 (30.3)	3.5	1.3
	2年生	23 (12.5)	58 (31.5)	31 (16.8)	49 (26.6)	23 (12.5)	3.0	1.3
	全学年	30 (9.5)	90 (28.5)	54 (17.1)	79 (25.0)	63 (19.9)	3.2	1.3
3 子どもが興味・関心を持っていることを自分が知っているか不安だ。	1年生	3 (2.3)	17 (13.0)	28 (21.4)	65 (49.6)	18 (13.7)	3.6	1.0
	2年生	6 (3.2)	45 (24.3)	63 (34.1)	61 (33.0)	10 (5.4)	3.1	1.0
	全学年	9 (2.8)	62 (19.6)	91 (28.8)	126 (39.9)	28 (8.9)	3.3	1.0
4 実習園の先生方に厳しく注意や叱責を受けるのではないかと心配だ。	1年生	4 (3.0)	8 (6.1)	16 (12.1)	47 (35.6)	57 (43.2)	4.1	1.0
	2年生	9 (4.9)	37 (20.0)	54 (29.2)	53 (28.6)	32 (17.3)	3.3	1.1
	全学年	13 (4.1)	45 (14.2)	70 (22.1)	100 (31.5)	89 (28.1)	3.7	1.2
5 実習生としてふさわしい服装や振る舞いができるか不安だ。	1年生	7 (5.3)	38 (28.8)	34 (25.8)	38 (28.8)	15 (11.4)	3.1	1.1
	2年生	31 (16.8)	88 (47.6)	29 (15.7)	29 (15.7)	8 (4.3)	2.4	1.1
	全学年	38 (12.0)	126 (39.7)	63 (19.9)	67 (21.1)	23 (7.3)	2.7	1.1
6 部分実習用の絵本や紙芝居は、適切なものを選択できるか心配になる。	1年生	3 (2.3)	16 (12.1)	25 (18.9)	57 (43.2)	31 (23.5)	3.7	1.0
	2年生	6 (3.3)	46 (25.0)	46 (25.0)	72 (39.1)	14 (7.6)	3.2	1.0
	全学年	9 (2.8)	62 (19.6)	71 (22.5)	129 (40.8)	45 (14.2)	3.4	1.0
7 大学で学んだことを体験・実践できることが楽しみだ。	1年生	2 (1.5)	15 (11.5)	33 (25.2)	56 (42.7)	25 (19.1)	3.7	1.0
	2年生	5 (2.7)	32 (17.3)	67 (36.2)	69 (37.3)	12 (6.5)	3.3	0.9
	全学年	7 (2.2)	47 (14.9)	100 (31.6)	125 (39.6)	37 (11.7)	3.4	1.0
8 先生に礼儀正しく振る舞えるか不安だ。	1年生	10 (7.6)	31 (23.5)	32 (24.2)	44 (33.3)	15 (11.4)	3.2	1.1
	2年生	24 (13.0)	57 (31.0)	53 (28.8)	37 (20.1)	13 (7.1)	2.8	1.1
	全学年	34 (10.8)	88 (27.8)	85 (26.9)	81 (25.6)	28 (8.9)	2.9	1.1
9 一人で実習に行くことが不安だ。	1年生	7 (5.3)	20 (15.3)	18 (13.7)	44 (33.6)	42 (32.1)	3.7	1.2
	2年生	41 (22.3)	58 (31.5)	28 (15.2)	38 (20.7)	19 (10.3)	2.7	1.3
	全学年	48 (15.2)	78 (24.8)	46 (14.6)	82 (26.0)	61 (19.4)	3.1	1.4
10実際にオムツ替え・衣服の着脱や食事の援助ができるか不安だ	1年生	5 (3.8)	21 (15.9)	18 (13.6)	55 (41.7)	33 (25.0)	3.7	1.1
	2年生	11 (5.9)	28 (15.1)	39 (21.1)	75 (40.5)	32 (17.3)	3.5	1.1
	全学年	16 (5.0)	49 (15.5)	57 (18.0)	130 (41.0)	65 (20.5)	3.6	1.1
11大きな声を出して保育ができるか不安だ。	1年生	20 (15.3)	37 (28.2)	18 (13.7)	35 (26.7)	21 (16.0)	3.0	1.3
	2年生	30 (16.2)	58 (31.4)	48 (25.9)	35 (18.9)	14 (7.6)	2.7	1.2
	全学年	50 (15.8)	95 (30.1)	66 (20.9)	70 (22.2)	35 (11.1)	2.8	1.3
12指導担当の先生と良好な関係が築けるか不安だ。	1年生	2 (1.5)	11 (8.3)	31 (23.5)	49 (37.1)	39 (29.5)	3.9	1.0
	2年生	6 (3.2)	25 (13.5)	42 (22.7)	79 (42.7)	33 (17.8)	3.6	1.0
	全学年	8 (2.5)	36 (11.4)	73 (23.0)	128 (40.4)	72 (22.7)	3.7	1.0
13実際の子どもの姿を観察できることが楽しみだ。	1年生	1 (0.8)	6 (4.5)	8 (6.1)	36 (27.3)	81 (61.4)	4.4	0.9
	2年生	2 (1.1)	11 (5.9)	23 (12.4)	80 (43.2)	69 (37.3)	4.1	0.9
	全学年	3 (0.9)	17 (5.4)	31 (9.8)	116 (36.6)	150 (47.3)	4.2	0.9
14自分の今の力を試せる場なのでワクワクする。	1年生	12 (9.1)	22 (16.7)	45 (34.1)	38 (28.8)	15 (11.4)	3.2	1.1
	2年生	13 (7.1)	40 (21.7)	67 (36.4)	46 (25.0)	18 (9.8)	3.1	1.1
	全学年	25 (7.9)	62 (19.6)	112 (35.4)	84 (26.6)	33 (10.4)	3.1	1.1
15実習期間中、睡眠時間を十分に確保できるか心配だ。	1年生	0 (0.0)	5 (3.8)	11 (8.3)	32 (24.2)	84 (63.6)	4.5	0.8
	2年生	4 (2.2)	16 (8.6)	20 (10.8)	60 (32.4)	85 (45.9)	4.1	1.0
	全学年	4 (1.3)	21 (6.6)	31 (9.8)	92 (29.0)	169 (53.3)	4.3	1.0

		全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	よくあてはまる	平均得点	標準偏差(±)
16実習期間中に、体調を崩さないか心配になる。	1年生	9 (6.8)	13 (9.8)	20 (15.2)	36 (27.3)	54 (40.9)	3.9	1.2
	2年生	8 (4.4)	23 (12.6)	21 (11.5)	64 (35.0)	67 (36.6)	3.9	1.2
	全学年	17 (5.4)	36 (11.4)	41 (13.0)	100 (31.7)	121 (38.4)	3.9	1.2
17給食の時、自分の苦手なものが入っていたらどうしようかと思う。	1年生	65 (49.2)	27 (20.5)	11 (8.3)	18 (13.6)	11 (8.3)	2.1	1.4
	2年生	77 (41.8)	35 (19.0)	32 (17.4)	25 (13.6)	15 (8.2)	2.3	1.3
	全学年	142 (44.9)	62 (19.6)	43 (13.6)	43 (13.6)	26 (8.2)	2.2	1.4
18部分・責任実習で、自分が計画した活動を子どもが楽しんでくれるか心配になる。	1年生	1 (0.8)	2 (1.5)	17 (12.9)	51 (38.6)	61 (46.2)	4.3	0.8
	2年生	2 (1.1)	9 (4.9)	22 (11.9)	82 (44.3)	70 (37.8)	4.1	0.9
	全学年	3 (0.9)	11 (3.5)	39 (12.3)	133 (42.0)	131 (41.3)	4.2	0.9
19子どもと触れ合えることが楽しみだ。	1年生	1 (0.8)	1 (0.8)	6 (4.5)	25 (18.9)	99 (75.0)	4.7	0.7
	2年生	1 (0.5)	5 (2.7)	14 (7.6)	55 (29.9)	109 (59.2)	4.5	0.8
	全学年	2 (0.6)	6 (1.9)	20 (6.3)	80 (25.3)	208 (65.8)	4.5	0.8
20実習中、遅刻をしてしまったらどうしようと思う。	1年生	32 (24.2)	33 (25.0)	26 (19.7)	23 (17.4)	18 (13.6)	2.7	1.4
	2年生	41 (22.2)	49 (26.5)	43 (23.2)	35 (18.9)	17 (9.2)	2.7	1.3
	全学年	73 (23.0)	82 (25.9)	69 (21.8)	58 (18.3)	35 (11.0)	2.7	1.3
21子どもとうまく関われるのかが不安になる。	1年生	6 (4.5)	14 (10.6)	29 (22.0)	48 (36.4)	35 (26.5)	3.7	1.1
	2年生	18 (9.8)	48 (26.1)	55 (29.9)	45 (24.5)	18 (9.8)	3.0	1.1
	全学年	24 (7.6)	62 (19.6)	84 (26.6)	93 (29.4)	53 (16.8)	3.3	1.2
22実際の保育を観察できることが今から楽しみだ。	1年生	1 (0.8)	9 (6.8)	17 (12.9)	44 (33.3)	61 (46.2)	4.2	1.0
	2年生	5 (2.7)	22 (11.9)	48 (25.9)	72 (38.9)	38 (20.5)	3.6	1.0
	全学年	6 (1.9)	31 (9.8)	65 (20.5)	116 (36.6)	99 (31.2)	3.9	1.0
23子どもたちといろいろな遊びを経験できることが楽しみだ。	1年生	0 (0.0)	1 (0.8)	14 (10.6)	43 (32.6)	74 (56.1)	4.4	0.7
	2年生	4 (2.2)	4 (2.2)	39 (21.1)	77 (41.6)	61 (33.0)	4.0	0.9
	全学年	4 (1.3)	5 (1.6)	53 (16.7)	120 (37.9)	135 (42.6)	4.2	0.9
24自分の夢に近づける経験であるため、楽しみだ。	1年生	2 (1.5)	6 (4.5)	20 (15.2)	43 (32.6)	61 (46.2)	4.2	1.0
	2年生	4 (2.2)	13 (7.0)	58 (31.4)	71 (38.4)	39 (21.1)	3.7	1.0
	全学年	6 (1.9)	19 (6.0)	78 (24.6)	114 (36.0)	100 (31.5)	3.9	1.0
25子どもの発達段階や興味に応じた制作活動を提案できるだろうか。	1年生	2 (1.5)	8 (6.1)	31 (23.5)	52 (39.4)	39 (29.5)	3.9	1.0
	2年生	1 (0.5)	8 (4.3)	47 (25.4)	90 (48.6)	39 (21.1)	3.9	0.8
	全学年	3 (0.9)	16 (5.0)	78 (24.6)	142 (44.8)	78 (24.6)	3.9	0.9
26はやく子どもたちに絵本や紙芝居の読み聞かせをしてみたい。	1年生	7 (5.3)	17 (12.9)	42 (31.8)	38 (28.8)	28 (21.2)	3.5	1.1
	2年生	7 (3.8)	25 (13.6)	78 (42.4)	57 (31.0)	17 (9.2)	3.3	0.9
	全学年	14 (4.4)	42 (13.3)	120 (38.0)	95 (30.1)	45 (14.2)	3.4	1.0
27保育者の仕事内容への理解が深まることに、期待感をもっている。	1年生	2 (1.5)	10 (7.6)	30 (22.7)	56 (42.4)	34 (25.8)	3.8	1.0
	2年生	5 (2.7)	13 (7.1)	75 (40.8)	64 (34.8)	27 (14.7)	3.5	0.9
	全学年	7 (2.2)	23 (7.3)	105 (33.2)	120 (38.0)	61 (19.3)	3.7	0.9
28先生方とコミュニケーションをとれるか心配になる。	1年生	4 (3.0)	17 (12.9)	23 (17.4)	45 (34.1)	43 (32.6)	3.8	1.1
	2年生	5 (2.7)	29 (15.7)	46 (24.9)	74 (40.0)	31 (16.8)	3.5	1.0
	全学年	9 (2.8)	46 (14.5)	69 (21.8)	119 (37.5)	74 (23.3)	3.6	1.1
29実習を最後まで頑張れるか心配になる。	1年生	10 (7.6)	25 (18.9)	30 (22.7)	31 (23.5)	36 (27.3)	3.4	1.3
	2年生	34 (18.4)	52 (28.1)	44 (23.8)	36 (19.5)	19 (10.3)	2.8	1.3
	全学年	44 (13.9)	77 (24.3)	74 (23.3)	67 (21.1)	55 (17.4)	3.0	1.3
30実習で、上手にピアノを弾けるかどうか心配になる。	1年生	3 (2.3)	9 (6.8)	8 (6.1)	35 (26.5)	77 (58.3)	4.3	1.0
	2年生	24 (13.0)	29 (15.7)	23 (12.4)	39 (21.1)	70 (37.8)	3.6	1.5
	全学年	27 (8.5)	38 (12.0)	31 (9.8)	74 (23.3)	147 (46.4)	3.9	1.3

		全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	よくあてはまる	平均得点	標準偏差(±)
31実習のことを考えると、何となく全体的に不安になる。	1年生	2 (1.5)	4 (3.0)	19 (14.4)	29 (22.0)	78 (59.1)	4.3	0.9
	2年生	5 (2.7)	10 (5.4)	24 (13.0)	57 (30.8)	89 (48.1)	4.2	1.0
	全学年	7 (2.2)	14 (4.4)	43 (13.6)	86 (27.1)	167 (52.7)	4.2	1.0
32子どものけんかに、適切に対応できるか不安だ。	1年生	1 (0.8)	8 (6.1)	16 (12.2)	56 (42.7)	50 (38.2)	4.1	0.9
	2年生	5 (2.7)	14 (7.6)	33 (17.8)	91 (49.2)	42 (22.7)	3.8	1.0
	全学年	6 (1.9)	22 (7.0)	49 (15.5)	147 (46.5)	92 (29.1)	3.9	0.9
33どのような子どもと出会えるのか楽しみだ。	1年生	2 (1.5)	2 (1.5)	3 (2.3)	37 (28.0)	88 (66.7)	4.6	0.8
	2年生	2 (1.1)	6 (3.2)	27 (14.6)	64 (34.6)	86 (46.5)	4.2	0.9
	全学年	4 (1.3)	8 (2.5)	30 (9.5)	101 (31.9)	174 (54.9)	4.4	0.9
34自分のピアノ伴奏で、子どもと一緒に歌えると思うとワクワクする。	1年生	15 (11.4)	29 (22.0)	36 (27.3)	31 (23.5)	21 (15.9)	3.1	1.2
	2年生	24 (13.0)	43 (23.4)	55 (29.9)	32 (17.4)	30 (16.3)	3.0	1.3
	全学年	39 (12.3)	72 (22.8)	91 (28.8)	63 (19.9)	51 (16.1)	3.1	1.3
35他の実習生と比較されないか気になる。	1年生	1 (0.8)	9 (6.8)	24 (18.2)	44 (33.3)	54 (40.9)	4.1	1.0
	2年生	13 (7.1)	17 (9.2)	43 (23.4)	60 (32.6)	51 (27.7)	3.7	1.2
	全学年	14 (4.4)	26 (8.2)	67 (21.2)	104 (32.9)	105 (33.2)	3.8	1.1
36きっと自分はこの実習で大きく成長することができるだろう。	1年生	0 (0.0)	2 (1.5)	30 (22.7)	50 (37.9)	50 (37.9)	4.1	0.8
	2年生	4 (2.2)	6 (3.2)	65 (35.1)	77 (41.6)	33 (17.8)	3.7	0.9
	全学年	4 (1.3)	8 (2.5)	95 (30.0)	127 (40.1)	83 (26.2)	3.9	0.9
37自分が「先生」と呼ばれると思うと嬉しい。	1年生	0 (0.0)	4 (3.0)	11 (8.3)	47 (35.6)	70 (53.0)	4.4	0.8
	2年生	4 (2.2)	9 (4.9)	26 (14.1)	64 (34.6)	82 (44.3)	4.1	1.0
	全学年	4 (1.3)	13 (4.1)	37 (11.7)	111 (35.0)	152 (47.9)	4.2	0.9
38子どもが私の言うことを聞いてくれるか不安だ。	1年生	0 (0.0)	7 (5.3)	26 (19.7)	58 (43.9)	41 (31.1)	4.0	0.9
	2年生	4 (2.2)	11 (5.9)	57 (30.8)	84 (45.4)	29 (15.7)	3.7	0.9
	全学年	4 (1.3)	18 (5.7)	83 (26.2)	142 (44.8)	70 (22.1)	3.8	0.9
39絵本や紙芝居を上手に読めるか気がかりだ。	1年生	5 (3.8)	15 (11.4)	25 (18.9)	50 (37.9)	37 (28.0)	3.8	1.1
	2年生	12 (6.5)	37 (20.0)	61 (33.0)	57 (30.8)	18 (9.7)	3.2	1.1
	全学年	17 (5.4)	52 (16.4)	86 (27.1)	107 (33.8)	55 (17.4)	3.4	1.1
40保育の現場を体験できることが楽しみだ。	1年生	2 (1.5)	3 (2.3)	20 (15.2)	42 (31.8)	65 (49.2)	4.3	0.9
	2年生	4 (2.2)	12 (6.5)	42 (22.8)	73 (39.7)	53 (28.8)	3.9	1.0
	全学年	6 (1.9)	15 (4.7)	62 (19.6)	115 (36.4)	118 (37.3)	4.0	1.0
41部分・責任実習で計画した活動に、子どもがどう反応するか楽しみである。	1年生	2 (1.5)	13 (9.8)	31 (23.5)	55 (41.7)	31 (23.5)	3.8	1.0
	2年生	3 (1.6)	17 (9.2)	51 (27.7)	86 (46.7)	27 (14.7)	3.6	0.9
	全学年	5 (1.6)	30 (9.5)	82 (25.9)	141 (44.6)	58 (18.4)	3.7	0.9
42先生方から多くの助言をいただけることに期待感をもっている。	1年生	1 (0.8)	9 (6.8)	30 (22.7)	58 (43.9)	34 (25.8)	3.9	0.9
	2年生	3 (1.6)	18 (9.7)	46 (24.9)	81 (43.8)	37 (20.0)	3.7	1.0
	全学年	4 (1.3)	27 (8.5)	76 (24.0)	139 (43.8)	71 (22.4)	3.8	0.9
43子どもの前に立って話などができるか不安だ。	1年生	4 (3.0)	22 (16.7)	17 (12.9)	44 (33.3)	45 (34.1)	3.8	1.2
	2年生	11 (6.0)	44 (24.2)	45 (24.7)	60 (33.0)	22 (12.1)	3.2	1.1
	全学年	15 (4.8)	66 (21.0)	62 (19.7)	104 (33.1)	67 (21.3)	3.5	1.2
44実習先の方針に合わせることができるか不安だ。	1年生	3 (2.3)	19 (14.4)	32 (24.2)	41 (31.1)	37 (28.0)	3.7	1.1
	2年生	11 (5.9)	35 (18.9)	65 (35.1)	55 (29.7)	19 (10.3)	3.2	1.1
	全学年	14 (4.4)	54 (17.0)	97 (30.6)	96 (30.3)	56 (17.7)	3.4	1.1
45自分自身が成長できることが楽しみだ。	1年生	0 (0.0)	5 (3.8)	24 (18.2)	57 (43.2)	46 (34.8)	4.1	0.8
	2年生	1 (0.5)	10 (5.4)	48 (25.9)	82 (44.3)	44 (23.8)	3.9	0.9
	全学年	1 (0.3)	15 (4.7)	72 (22.7)	139 (43.8)	90 (28.4)	4.0	0.9

		全くあてはまらない	あまりあてはまらない	どちらともいえない	ややあてはまる	よくあてはまる	平均得点	標準偏差(±)
46自分の指導計画に基づいた保育実践の機会を与えられることが嬉しい。	1年生	4 (3.0)	16 (12.1)	40 (30.3)	41 (31.1)	31 (23.5)	3.6	1.1
	2年生	7 (3.8)	24 (13.0)	79 (42.7)	55 (29.7)	20 (10.8)	3.3	1.0
	全学年	11 (3.5)	40 (12.6)	119 (37.5)	96 (30.3)	51 (16.1)	3.4	1.0
47実習先が自分に合っているかが不安だ。	1年生	3 (2.3)	13 (9.8)	14 (10.6)	34 (25.8)	68 (51.5)	4.1	1.1
	2年生	16 (8.6)	25 (13.5)	46 (24.9)	57 (30.8)	41 (22.2)	3.4	1.2
	全学年	19 (6.0)	38 (12.0)	60 (18.9)	91 (28.7)	109 (34.4)	3.7	1.2
48部分・責任実習の指導案を書くことができるか心配だ。	1年生	1 (0.8)	4 (3.0)	3 (2.3)	21 (15.9)	103 (78.0)	4.7	0.7
	2年生	5 (2.7)	16 (8.6)	25 (13.5)	78 (42.2)	61 (33.0)	3.9	1.0
	全学年	6 (1.9)	20 (6.3)	28 (8.8)	99 (31.2)	164 (51.7)	4.3	1.0
49保育中、私のせいで子どもにケガをさせてしまわないか心配だ。	1年生	1 (0.8)	10 (7.6)	20 (15.2)	35 (26.5)	66 (50.0)	4.2	1.0
	2年生	4 (2.2)	13 (7.0)	51 (27.6)	68 (36.8)	49 (26.5)	3.8	1.0
	全学年	5 (16.0)	23 (7.3)	71 (22.4)	103 (32.5)	115 (36.3)	4.0	1.0
50子どもと一緒に手遊びをすることが今から楽しみだ。	1年生	3 (2.3)	7 (5.3)	26 (19.8)	46 (35.1)	49 (37.4)	4.0	1.0
	2年生	8 (4.4)	25 (13.7)	69 (37.9)	57 (31.3)	23 (12.6)	3.3	1.0
	全学年	11 (3.5)	32 (10.2)	95 (30.4)	103 (32.9)	72 (23.0)	3.6	1.1
51子どもは自分に親しみをもって接してくれると思う。	1年生	0 (0.0)	11 (8.3)	61 (46.2)	44 (33.3)	16 (12.1)	3.5	0.8
	2年生	3 (1.6)	8 (4.3)	76 (41.3)	72 (39.1)	25 (13.6)	3.6	0.8
	全学年	3 (0.9)	19 (6.0)	137 (43.3)	116 (36.7)	41 (13.0)	3.6	0.8
52実習日誌がきちんと書けるか心配だ。	1年生	0 (0.0)	3 (2.3)	2 (1.5)	16 (12.1)	111 (84.1)	4.8	0.6
	2年生	8 (4.3)	30 (16.3)	42 (22.8)	71 (38.6)	33 (17.9)	3.5	1.1
	全学年	8 (2.5)	33 (10.4)	44 (13.9)	87 (27.5)	144 (45.6)	4.0	1.1
53子どもがケガをした時に適切に対応できるか不安だ。	1年生	1 (0.8)	6 (4.5)	10 (7.6)	37 (28.0)	78 (59.1)	4.4	0.9
	2年生	0 (0.0)	1 (0.5)	40 (21.7)	92 (50.0)	51 (27.7)	4.1	0.7
	全学年	1 (0.3)	7 (2.2)	50 (15.8)	129 (40.8)	129 (40.8)	4.2	0.8
54先生になるということがどういうことかを知ることができる。	1年生	0 (0.0)	1 (0.8)	15 (11.4)	42 (31.8)	74 (56.1)	4.4	0.7
	2年生	1 (0.5)	4 (2.2)	34 (18.5)	99 (53.8)	46 (25.0)	4.0	0.8
	全学年	1 (0.3)	5 (1.6)	49 (15.5)	141 (44.6)	120 (38.0)	4.2	0.8
55今現在、得意なことが無いことに不安を感じる。	1年生	7 (5.3)	20 (15.2)	26 (19.7)	28 (21.2)	51 (38.6)	3.7	1.3
	2年生	12 (6.5)	24 (13.0)	46 (25.0)	51 (27.7)	51 (27.7)	3.6	1.2
	全学年	19 (6.0)	44 (13.9)	72 (22.8)	79 (25.0)	102 (32.3)	3.6	1.2
56園での行事を経験できることが楽しみである。	1年生	1 (0.8)	4 (3.0)	12 (9.1)	49 (37.1)	66 (50.0)	4.3	0.8
	2年生	4 (2.2)	6 (3.3)	55 (29.9)	86 (46.7)	33 (17.9)	3.8	0.9
	全学年	5 (1.6)	10 (3.2)	67 (21.2)	135 (42.7)	99 (31.3)	4.0	0.9
57子どもを自分の方に引きつけることができるか不安だ。	1年生	0 (0.0)	13 (9.8)	20 (15.2)	40 (30.3)	59 (44.7)	4.1	1.0
	2年生	3 (1.6)	21 (11.5)	46 (25.1)	82 (44.8)	31 (16.9)	3.6	1.0
	全学年	3 (1.0)	34 (10.8)	66 (21.0)	122 (38.7)	90 (28.6)	3.8	1.0
58保育の仕事を経験できることが楽しみだ。	1年生	2 (1.5)	3 (2.3)	17 (12.9)	42 (31.8)	68 (51.5)	4.3	0.9
	2年生	3 (1.6)	10 (5.4)	53 (28.8)	76 (41.3)	42 (22.8)	3.8	0.9
	全学年	5 (1.6)	13 (4.1)	70 (22.2)	118 (37.3)	110 (34.8)	4.0	0.9
59大学で学んだことを実際に生かせるか不安だ。	1年生	0 (0.0)	7 (5.3)	15 (11.4)	42 (31.8)	68 (51.5)	4.3	0.9
	2年生	6 (3.3)	13 (7.1)	60 (32.8)	75 (41.0)	29 (15.8)	3.6	1.0
	全学年	6 (1.9)	20 (6.3)	75 (23.8)	117 (37.1)	97 (30.8)	3.9	1.0
60責任実習で、自分が一日保育をすすめられるか心配だ。	1年生	1 (0.8)	1 (0.8)	4 (3.0)	23 (17.4)	103 (78.0)	4.7	0.6
	2年生	2 (1.1)	5 (2.7)	22 (12.0)	50 (27.2)	105 (57.1)	4.4	0.9
	全学年	3 (0.9)	6 (1.9)	26 (8.2)	73 (23.1)	208 (65.8)	4.5	0.8

表 3　実習不安尺度の因子分析結果（最尤法、プロマックス回転）

n＝319

	因子1	因子2	因子3	因子4	I-T 相関	項目が削除された場合のα係数
子どもへの対応不安（α＝.84）						
53 子どもがケガをした時に適切に対応できるか不安だ。	**.71**	-.02	-.13	.09	.57	.82
49 保育中、私のせいで子どもにケガをさせてしまわないか心配だ。	**.58**	-.10	.10	.10	.54	.83
6 部分実習用の絵本や紙芝居は、適切なものを選択できるか心配になる。	**.54**	-.14	.22	.01	.53	.83
25 子どもの発達段階や興味に応じた制作活動を提案できるだろうか。	**.52**	.15	-.11	-.05	.47	.83
57 子どもを自分の方に引きつけることができるか不安だ。	**.51**	.18	.07	-.13	.58	.82
39 絵本や紙芝居を上手に読めるか気がかりだ。	**.51**	.13	.10	.02	.61	.82
1 子どもの状況にふさわしい声掛けができるか不安だ。	**.50**	.11	-.01	.05	.53	.83
3 子どもが興味・関心を持っていることを自分が知っているか不安だ。	**.45**	-.14	.23	.11	.51	.83
38 子どもが私の言うことを聞いてくれるか不安だ。	**.43**	.19	.10	-.11	.53	.83
18 部分・責任実習で、自分が計画した活動を子どもが楽しんでくれるか心配になる。	**.40**	.30	-.07	-.01	.49	.83
部分・責任実習不安（α＝.81）						
48 部分・責任実習の指導案を書くことができるか心配だ。	.0	**.75**	.06	-.04	.67	.76
60 責任実習で、自分が一日保育をすすめられるか心配だ。	.18	**.74**	-.21	-.02	.60	.78
31 実習のことを考えると、何となく全体的に不安になる。	.08	**.61**	-.04	.09	.58	.78
47 実習先が自分に合っているかが不安だ。	-.17	**.53**	.31	-.01	.48	.79
55 今現在、得意なことが無いことに不安を感じる。	.08	**.49**	-.02	-.08	.48	.79
30 実習で、上手にピアノを弾けるかどうか心配になる。	-.01	**.49**	.0	.03	.48	.80
52 実習日誌がきちんと書けるか心配だ。	-.05	**.49**	.20	.19	.60	.77
実習生適応(α＝.78)						
5 実習生としてふさわしい服装や振る舞いができるか不安だ。	.04	-.10	**.75**	.02	.58	.74
8 先生に礼儀正しく振る舞えるか不安だ。	.0	-.09	**.72**	-.03	.56	.74
44 実習先の方針に合わせることができるか不安だ。	.05	.13	**.49**	.08	.53	.75
4 実習園の先生方に厳しく注意や叱責を受けるのではないかと心配だ。	-.08	.32	**.48**	.03	.52	.75
12 指導担当の先生と良好な関係が築けるか不安だ。	.0	.22	**.45**	-.02	.55	.75
11 大きな声を出して保育ができるか不安だ。	.30	-.06	**.43**	-.17	.45	.77
体調管理不安（α＝.72）						
16 実習期間中に、体調を崩さないか心配になる。	.01	-.08	-.05	**.86**	.63	.51
2 実習期間終了まで、自分の体力がもつか心配だ。	.04	-.04	.14	**.62**	.53	.65
15 実習期間中、睡眠時間を十分に確保できるか心配だ。	.02	.25	-.13	**.55**	.48	.70
因子間相関　因子1	—	.49	.55	.38		
因子2		—	.52	.41		
因子3			—	.38		

表 4　不安尺度および下位尺度得点の平均値と標準偏差

n＝319

	平均得点	標準偏差（±）	得点範囲
不安尺度	96.6	15.1	26～130
子どもへの対応	37.7	6.1	10～50
部分・責任実習	28.3	5.3	7～35
実習生適応	19.2	4.7	6～30
体調管理	11.3	2.8	3～15

1.66、1.38、1.28、……)、累積寄与率、因子の解釈可能性の観点から総合的に検討し、4因子構造が適当であると判断した。因子数を4因子に固定して、最尤法、プロマックス回転による因子分析を行い、負荷量がいずれの因子に対しても.40に満たない項目と、複数の因子に.35以上を示した項目を削除し、最終的に26項目が妥当であると判断した。なお、回転前の4因子で26項目の全分散を説明する割合は49.95%であった。

第1因子には「子どもがケガをした時に適切に対応できるか不安だ」などの項目に高い負荷量が見られ、これらは子どもへの具体的な対応や関わりに関係する不安であることから「子どもへの対応不安」と命名した。第2因子には「部分・責任実習の指導案を書くことができるか心配だ」などの項目に高い負荷量が見られ、主に部分実習や責任実習の計画、内容に関係する不安であることから「部分・責任実習不安」と命名した。第3因子には「実習生としてふさわしい服装や振る舞いができるか不安だ」、「先生に礼儀正しく振る舞えるか不安だ」などの項目に高い負荷量が見られ、実習生としての保育現場への適応に関係する不安であることから「実習生適応不安」と命名した。第4因子には「実習期間中に、体調を崩さないか心配になる」などの項目に高い負荷量が見られ、これらは実習期間中の体調管理に関係する不安であることから「体調管理不安」と命名した。4因子間の相関は.38〜.55であった。

幼稚園・保育所実習不安尺度の信頼性係数をCronbachのα係数により確認した。「子どもへの対応」では.84、「部分・責任実習」では.81、「実習生適応」では.78、「体調管理」では.72、全体では.91という数値が得られた。このことから本尺度には十分に高い内的整合性が認められた（表3）。不安尺度および下位尺度の平均得点と標準偏差を表4に示す。

また、尺度の内容的妥当性については保育実習指導担当者、幼稚園教育実習経験者である研究者2名によって問題ないことが確認された。

4．期待尺度の作成

期待23項目に対して因子分析（最尤法）を行った。第1因子で全分散の45.87%を説明しており高い寄与率を示したことから、単因子構造と考えるのが妥当であると判断した。なお、固有値の推移は第1因子から順に10.55、1.35、1.17……であった。 因子数を1に固定して再度因子分析（最尤法）を行い、負荷量が.40に満たない1項目（項目51）を削除した。

さらに、今後の調査実施時の回答者の負担軽減のため項目を精選した。項目の精選は、因子負荷量、I-T相関、項目間の相関を考慮して行なった。最終的に表5に示す11項目による幼稚園・保育所実習期待尺度を作成した。尺度の信頼性係数をCronbachのα係数により確認したところα＝.91であり、十分に高い内的整合性が認められた。期待尺度の平均得点と標準偏差を表6に示す。

また、尺度の内容的妥当性については保育実習指導担当者、幼稚園教育実習経験者である研究者2名によって問題ないことが確認された。

5．学年差の検討

学年によって、今後予定されている直近の実習への不安・期待に差があるかどうかを検討するため、対応のないt検定を行った。その結果、「不安尺度」($t(307)=7.14$、$p<.01$)、「子ども対応」($t(310)=5.68$、$p<.01$)、「部分・責任実習」($t(313.76)=7.86$、$p<.01$)、「実習生適応」($t(313)=5.60$、$p<.01$)、「体調管理」($t(313)=2.74$、$p<.01$)、「期待尺度」($t(308)=4.76$、

p<.01）の全てにおいて有意差が見られ、２年生よりも１年生の方が実習への不安と期待の両面で得点が高かった（表７）。

〈調査２〉

調査１と調査２に回答した1年生を対象として調査時期による差を検討した。

調査１は７月下旬に１、２年生を対象として実施され、この結果に基づいて幼稚園・保育所実習不安および期待尺度が作成された。調査２の対象である１年生の初回実習は、11月中旬に行われる幼稚園実習であった。この第１回目の実習に参加する直前に、実習に対する不安や期待にどのような変化が見られるかを検討した。

調査１と調査２の不安尺度と下位尺度、期待尺度の得点を比較するため、対応のある t 検定を行った。t 検定の結果、「子どもへの対応」（$t(118)=-3.16$、$p<.01$）と「実習生適応」（$t(118)=-5.08$、$p<.01$）で、有意な差が見られ、実習目前の方が高い得点であった。「部分・責任実習」（$t(120)=1.64$、*n.s.*）と「体調管理」（$t(119)=-1.10$、*n.s.*）では有意な差は認められなかった。また、期待尺度得点（$t(115)=4.98$、$p<.01$）は実習を目前に控えた時期の方が有意に低かった。

表５　実習期待尺度の因子分析結果（最尤法）

$n=319$

	因子1	I-T 相関	項目が削除された場合の α 係数
期待（$\alpha=.91$）			
24 自分の夢に近づける経験であるため、楽しみだ。	.79	.61	.91
27 保育者の仕事内容への理解が深まることに、期待感をもっている。	.77	.68	.90
58 保育の仕事を経験できることが楽しみだ。	.77	.75	.90
46 自分の指導計画に基づいた保育実践の機会を与えられることが嬉しい。	.72	.73	.90
14 自分の今の力を試せる場なのでワクワクする。	.71	.55	.91
50 子どもと一緒に手遊びをすることが今から楽しみだ。	.70	.64	.90
41 部分・責任実習で計画した活動に、子どもがどう反応するか楽しみである。	.67	.61	.91
42 先生方から多くの助言をいただけることに期待感をもっている。	.64	.69	.90
7 大学で学んだことを体験・実践できることが楽しみだ。	.64	.67	.90
56 園での行事を経験できることが楽しみである。	.63	.60	.91
36 きっと自分はこの実習で大きく成長することができるだろう。	.58	.73	.90
因子寄与	5.84		
因子寄与率（%）	53.12		

表６　期待尺度の平均得点と標準偏差

$n=319$

	平均得点	標準偏差（±）	得点範囲
期待尺度	40.5	7.7	11～55

表７　学年による尺度得点の差

		1年生	2年生	t 値
不安尺度	n	130	179	
	平均得点	103.3	91.7	7.14**
	標準偏差（±）	14.2	13.9	
子どもへの対応	n	131	181	
	平均得点	39.9	36.1	5.68**
	標準偏差（±）	6.4	5.4	
部分・責任実習	n	132	184	
	平均得点	30.7	26.5	7.86**
	標準偏差（±）	4.00	5.43	
実習生適応	n	131	184	
	平均得点	20.9	18.0	5.60**
	標準偏差（±）	4.7	4.4	
体調管理	n	132	183	
	平均得点	11.8	11.0	2.74**
	標準偏差（±）	2.7	2.8	
期待尺度	n	130	180	
	平均得点	42.8	38.7	4.76**
	標準偏差（±）	7.3	7.6	

注）対応のない t 検定　　$^{**}p<.01$

表８　調査時期による尺度得点の差

	調査１（7月）		調査２（10月）		t 値	n	得点範囲
	平均得点	標準偏差	平均得点	標準偏差			
不安尺度	103.0	14.4	106.0	13.0	-2.88**	116	26〜130
子どもへの対応	39.9	6.5	41.4	5.6	-3.16**	119	10〜50
部分・責任実習	30.7	4.0	30.2	3.6	1.64 *n.s.*	121	7〜35
実習生適応	20.8	4.7	22.6	4.5	-5.08**	119	6〜30
体調管理	11.8	2.8	12.0	2.5	-1.10 *n.s.*	120	3〜15
期待尺度	43.3	7.0	40.5	7.9	4.98**	116	11〜55

注）対応のある t 検定　　$^{**}p<.01$

考察および今後の課題

本研究は、学生の幼稚園教育実習・保育所実習に対する不安・期待の測定尺度を作成するための予備的研究であった。まず学生が実際に感じている不安・期待に基づいて質問文を作成し、調査１により得られた結果から尺度化を試みた。不安の下位尺度として「子ども対応」「部分・責任実習」「実習生適応」「体調管理」の４因子を抽出した。学生は実習生としての立場ではあっても、保育の場では子どもから「先生」と呼ばれ、保育者としての指導や援助

が期待される場面に遭遇する。また、養成校において実習日誌や指導計画作成の理論や書き方を学んではいるが、子どもの実態に即した実践的な取組みは、1年生は未経験であろうし、経験ある2年生にとってもこれまでの学修成果が問われる場面である。また、新たな環境で人間関係を構築しながら保育の職場に適応していけるのか、期間中睡眠時間を確保し体調管理できるかどうか、いずれも実習不安を検討するうえで重要な要素である。

予備調査によって得られた結果から、学生が実際に感じている不安・期待に基づいた質問項目を作成したため、 学生の現実的な不安・期待に沿った尺度が作成できたと考える。しかしながら、反面、学生によって示された以外の観点が十分含まれているとはいえない。そのため、項目内容や表現、下位尺度数、項目数については、先行研究、実習指導担当教員や保育者の視点等も考慮しながら今後検討する余地がある。また、本研究では尺度の内的整合性、内容的妥当性は確認されたが、安定性、構成概念妥当性の検討がなされていないため、今後の研究に期待される。

実習への全般的な不安感および期待感では、1年生の9割近くが不安感、約7割が期待感をもっていることがわかり、この結果は村田他（2004）の報告と同様であった。また、具体的な不安・期待（全60項目）に対して「よくあてはまる」との回答は、項目34、51以外全ての項目で、2年生より1年生の比率が高くなっており、実習未経験の方が不安や期待の程度が高かった。実習不安・期待尺度による学年差につての検討でも、不安尺度と下位尺度、期待尺度の全てにおいて2年生より1年生の平均得点が有意に高かった。この結果については、先行研究でも同様に認められており（大野木・宮川（1996）、大平・開（2009）、戸田（2014））、実習経験の有無が影響している可能性が示唆される。1年生より2年生の期待が低い点から、保育実践の経験により「具体的イメージをつかみ現実認識が高まったことにより、未知の経験への期待が低減した可能性」（長谷部、2007）が示唆される。

実習未経験の1年生を対象として、調査時期による差を検討した。1回目の調査は7月下旬に実施され、2回目の調査は初回実習（幼稚園）を約2週間後に控えた10月下旬に実施された。その結果、実習目前に「子ども対応」「実習生適応」不安が高くなり、逆に期待は低下することが明らかになった。「部分・責任実習」「体調管理」では差が認められなかった。大野木・宮川（1996）により、教育実習不安と対人不安感が相関関係にあることが報告されている。本研究の「子ども対応」「実習生適応」の項目は、大部分が子ども、保育者に対する内容になっている。このことから、対人関係面に関わる個人的な特性が、実習目前の不安に影響している可能性も考えられる。

今後、対人不安などの個人特性との関連、不安の変化に影響を与える要因、また、不安の高低が実習の学習成果や次の実習への意識とどのように関連するかを検討することが、適切な実習指導のあり方を考えるうえでも必要である。

引用文献

厚生労働省　指定保育士養成施設一覧
http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-11900000-Koyoukintoujidoukateikyoku/HP_11.pdf
（参照：2015.12.1）

村田務・岡本美智子・小林義郎・海野阿育　2004　保育実習への不安状況に関する調査　研究年報（白梅学園短期大学）　9, 13-31

佐野友恵・廣橋容子　2011　はじめての実習に対する不安感と実際(1)―不安要素の特定を中心に―　国際研究論叢（大阪国際大学紀要）　24(2), 157-170
大平泰子・開仁志　2009　幼稚園教育実習生への指導のあり方に関する一考察―実習現場における指導の実態を中心に―　富山短期大学紀要　44, 73-79
大谷彰子・平化恵美子　2012　保育者養成課程における実習に対する課題と不安の変容　甲子園短期大学紀要　30, 67-73
大野木裕明・宮川 充司　1996　教育実習不安の構造と変化　教育心理学研究　44(4), 454-462
長谷部比呂美　2007　保育実習に関する学生の意識について―実習不安を中心として―　淑徳短期大学研究紀要　46, 81-96
本多潤子・櫻井登世子　2011　幼稚園教育実習における実習不安の類型とその特徴　田園調布学園大学紀要　6, 49-60
戸田浩暢　2014　学生の教育実習に対する不安感の考察　広島女学院大学人間生活学部紀要　1, 47-57